

□ 要請番号 (JL02423A14)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ラオス	G126 サッカー		個別	交替 3代目	2年	・ 2023/4 ・ 2024/1 ・ 2024/2 ・ 2024/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育スポーツ省

2) 配属機関名 (日本語)

ラオスサッカー連盟

3) 任地 (首都ビエンチャン) JICA事務所の所在地 (首都ビエンチャン)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は1951年に設立され、ラオスにおけるサッカーの普及・振興、代表選手の選考、国際試合への選手派遣及びラオス国内のプロリーグの運営等を行っている。日本からの協力としては、2015年から2020年まで青年海外協力隊2名が活動した他、2012年から2014年にかけてJFAのアジア貢献事業で指導者3名が派遣され、代表監督や技術委員長などを務めた。2022年度の運営予算は約150万米ドル。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

サッカーはラオスで最も人気のあるスポーツの一つであり、プロリーグも存在する。首都ビエンチャンにはユースのクラブチームも作られるなど、徐々にサッカーのレベルは向上してきているが、東南アジア近隣諸国と比べてもレベルが高いとは言えない。2017年に海外より技術委員長を招き、長期的観点に立ち、若年層からのサッカー人口拡大と、選手の育成・強化を図ろうとしているが、ラオスでは指導できる人材が限られている。2015年に派遣された隊員は、主にラオス代表のユースチーム及び若年層の指導を行い、指導したチームが国際大会において好成績を残すなど、一定の成果を残した。今回女子のユース世代の選手育成を活動の中心として、連盟への支援を期待され隊員の要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

同僚と共に以下の活動について実施する。

- ユース年代の選手に対してのサッカー指導(特に女子選手の指導が期待される)
- 競技大会での運営支援やサッカー協会での日常業務の支援
- その他、隊員の得意分野を生かした活動(小学生への普及活動、審判のスキル向上の支援、等)

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

サッカー連盟が管理するグラウンド、ボール、ビブス、マーカー等

4) 配属先同僚及び活動対象者

[配属先同僚]

・技術委員長(シンガポール人、50代男性)

・職員(約40名)

[指導対象]

・小学生、ユースチーム、女子チームなど(U15~17)

※活動内容による

5) 活動使用言語

ラオ語

6) 生活使用言語

ラオ語

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許]：(JFA・C級コーチライセンス)

[学歴]：() 備考：

[性別]：() 備考：

[経験]：(指導経験) 3年以上 備考：代表レベルの指導のため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(熱帯モンスーン気候) 気温：(10～40℃位) [電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】